

1 言語障害について

言語障害とは、発音が不明瞭であったり、話し言葉のリズムがスムーズでなかったりするため、話し言葉によるコミュニケーションが円滑に進まない状況であること、また、そのため本人が引け目を感じるなど社会生活上不都合な状態であることをいう。

2 言語障害のある子供の教育的ニーズ

(1) 早期からの教育的対応の重要性

言語障害教育を効果的に進めていくためには、子供の発語の面にどのような問題があり、それがどのような性質のものであるかを適切に評価し、どのように指導や支援をすることで、その問題を解決できそうかというエビデンスや予見に基づく教育的対応が求められる。また、言語は身近な人などとの関わりを通して発達していくものであり、子供を取り巻く環境との相互作用が言語の発達に大きな影響を及ぼす。このため、言語障害のある子供の教育的対応においては、子供の言語障害の状態だけでなく、周囲の大人の対応や子供同士の関わりなどといった相互作用の状態も考慮する必要がある。

さらに、言語能力は、意思の疎通や思考・判断や情緒の安定などの機能をもち、社会生活を送る上で大きな役割を果たすものである。このため、言語障害のある子供の教育的対応においては、本人の心理的・情緒的な側面に対する支援も考慮する必要がある。

このように、「早期からの対応でなければ効果が上がりにくい」「子供を取り巻く周囲の人などの対応の仕方が言語の発達に影響を及ぼす」「対応が遅れると、発達の様々な側面に問題が広がりがちである」といった言語の発達の特性から、早期からの教育的対応が非常に重要である。

(2) 教育的ニーズを整理するための観点

① 言語障害の状況等の把握

言語障害の状態等を的確に把握をするために、次のような事項に留意しながら情報を把握することが必要である。

観察については、検査室などではなく、プレイルームのような場所で、子供がその場に慣れ、楽しんで相手とのコミュニケーションができるよう工夫して観察することが望ましい。観察の際は、遊びの中で相手の話に対する反応や、言葉の理解と表出、人との関わりなどの側面を注視しておく必要がある。また、同席している保護者との関わりの様子を観察し、記録しておくことも重要な情報となる。

医療機関からの情報の把握については、現在の医療機関をはじめ、これまでにかかっていた専門の医療機関がある場合には、その間の診断や検査結果など、医学的所見を把握することが重要である。また、病院や療育施設で言語聴覚士による訓練等を受けている場合もあるため、言語発達等に関する検査や評価結果、支援の内容なども重要な情報となる。

② 言語障害のある子供に対する特別な指導内容

構音障害の中には、構音器官の運動機能が不十分であることに起因するものがある。このような状態の子供に対しては、構音器官の運動機能の向上に関する指導が必要である。また、口蓋機能が適切に働かないか不全の状態である場合には、呼吸流を口腔前方に向けるための指導を行う必要がある。

構音障害のある子供の中には、正しい構音と自分の構音との違いが区別できなかったり、音と音の比較や照合ができにくかったり、あるいは音の記憶や再生の面に遅れや偏りがあったりする者が少なくない。このような子供に対しては、聴覚的なフィードバックを成立させるための指導が必要である。誤った構音の仕方を覚えてしまったり、適切な構音の仕方を知らなかったりする子供に対しては、正しい構音の仕方を習得させるための指導が必要である。

吃音のある子供の場合、吃症状が生じることへの不安感や恐怖感をもち、内面の葛藤を一人で抱えることがある。このため、吃音について学び、吃音についてより客観的に捉えられるようにしたり、教員に「どうして欲しいのか」等を伝える際の内容や伝え方を考えるなどといった障害の特性を理解し、他者に対して主体的に働きかけたりして、より学習や生活をしやすい環境にしていけるような指導内容が必要である。

言語障害のある子供の場合、学校生活等におけるコミュニケーションの困難さや相手の反応などに対する不安感や恐怖感から、話したい気持ちを抑えたり、できるだけ言葉少なくすまそうとしたりすることがある。このため、楽しく話す体験をしたり、自分のできることや得意なことに気付き自信をもったりするなど、意欲を高めるような指導が必要である。

③ 言語障害のある子供の教育における合理的配慮を含む必要な支援の内容

学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮として、個別に発音の指導を行うことにより、話すことに自信をもち積極的に学習等に取り組むことができるようにする。学習内容の変更・調整として、発音のしにくさ等を考慮した学習内容の変更・調整を行う。情報・コミュニケーション及び教材の配慮として、発表の際に話すことを書くこと又は文字入力等に代替する。発話が不明瞭な場合の代替手段によるコミュニケーション手段を活用する。学習機会や体験の確保として、発音等の不明瞭さによる自信の喪失を軽減するために、音読や九九の発音等の個別指導の時間等を確保する。

専門性のある指導体制の整備として、指導の充実を図ることができるよう言語障害の専門家（言語聴覚士等）との連携を深める。子供、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮として、言語障害について、子供、教職員、保護者への理解啓発に努める。

災害時等の支援体制の整備として、発語による連絡が難しい場合には、代替手段により安否を伝える方法等を取り入れた避難訓練に取り組む。

3 言語障害のある子供の学校や学びの場と提供可能な教育機能

(1) 通常の学級における指導

言語障害のある子供が各教科等を学ぶ場合、障害による困難さに対する指導上の工夫や個に応じた手立てが必要となる。その際、前述した「③ 言語障害のある子供の教育における合理的配慮を含む必要な支援の内容」や学習指導要領総則のほか各教科等編の解説に示されている「学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」等を参考として、子供一人一人の教育的ニーズを踏まえて工夫していくことが重要となる。

そのためには、学校が言語障害についての基礎知識をもち適切な対応や指導を行うことが大切である。特に、学級経営においては、話しやすい学級の雰囲気作りや級友の理解が得られる集団作りが大切である。また、通常の学級における学習活動に参加してその内容を理解したり、学校生活全体を通して周囲とのコミュニケーションをしたりすることができるよう当該の子供に応じた合理的配慮を提供することも考えられる。

(2) 通級による指導（言語障害）

口蓋裂、構音器官のまひ等器質的又は機能的な構音障害のある者、吃音等話し言葉におけるリズムの障害のある者、話す、聞く等言語機能の基礎的事項に発達の遅れがある者、その他これに準じる者（これらの障害が主として他の障害に起因するものでない者に限る。）で、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする程度のもの。

（平成25年10月4日付25文科初第756号文部科学省初等中等教育局長通知）

ここで、「その他これに準じる者」とは、構音障害や話し言葉におけるリズムの障害や言語機能の基礎的事項の発達の遅れのことを示している。話す、聞く等の言語機能の基礎的事項に発達の遅れや偏りがある子供の中には、聴覚障害のある者、知的発達の遅れのある者なども含まれている。聴覚障害や知的発達に遅れなどに伴って生じる言語機能の基礎的事項に遅れや偏りが見られる場合は、主たる障害に対応した学びの場において適切な指導を行う必要がある。

言語障害のある子供の場合、通常の学級における大部分の授業については、(1)で述べた指導上の工夫や個に応じた手立ての工夫、教育における合理的配慮を含む支援を行うことが前提となる。さらに、当該の子供の自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基礎を培う必要がある場合、通級による指導を行うことを検討することとなる。言語障害は、家族や学級の担任や他の子供など周囲の言語障害に対する理解や対応などの本人を取り巻く環境が子供の対人関係等生活全般に与える影響が大きいため、話す意欲を高める指導やカウンセリング等の指導も必要である。

なお、通級による指導の内容について、各教科の内容を取り扱う場合であっても、障害による学習上又は生活上の困難の改善又は克服を目的とする指導であることに留意することが大切である。

(3) 言語障害特別支援学級

口蓋裂、構音器官のまひ等器質的又は機能的な構音障害のある者、吃音等話し言葉におけるリズムの障害のある者、話す、聞く等言語機能の基礎的事項に発達の遅れがある者、その他これに準じる者（これらの障害が主として他の障害に起因するものでない者に限る。）で、その程度が著しいもの。

（平成 25 年 10 月 4 日付 25 文科初第 756 号文部科学省初等中等教育局長通知）

ここで、「その他これに準じる者」とは、構音障害や話し言葉におけるリズムの障害や言語機能の基礎的事項の発達の遅れのことを示している。話す、聞く等の言語機能の基礎的事項に発達の遅れや偏りがある子供の中には、聴覚障害のある者、知的発達の遅れのある者なども含まれている。聴覚障害や知的発達に遅れなどに伴って生じる言語機能の基礎的事項に遅れや偏りが見られる場合は、主たる障害に対応した学びの場において適切な指導を行う必要がある。

「その程度が著しいもの」とは、言語機能の基礎的事項の発達の遅れがあり、学習活動における言葉の理解や表出などに困難が見られ、かなりの時間特別な指導を要する子供や、言語障害による学習上又は困難さに対する不安が大きく心理的な安定を図る配慮や指導を系統的かつ継続的に行う必要がある状態を意味している。

教育の内容は、小中学校等における各教科等では、教科等の目標に達成するよう言語障害の状態等に応じた変更・調整を行うとともに、言語障害に応じた特別な指導として、構音の改善に関する指導、話し言葉の流暢性を改善する指導、言語機能の基礎的事項に関する指導などが考えられる。また、いずれの場合においても、話したり読んだりするなどの言語活動やコミュニケーションに対する自信や意欲を高める指導、カウンセリング等の指導も必要である。

なお、特別支援学級に在籍する子供の指導に当たっては、通級による指導への学びの場の変更の可能性も視野に入れて、一人一人の子供の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討し、適切な指導を行うことが大切である。特別支援学級において特別な指導を行ったことにより、学習や社会生活への適応の状態が改善され、一斉での学習活動において、授業内容が分かり、学習活動に参加している実感・達成感をもてる状況に変容してきた場合には、通常の学級による指導と通級による指導を組み合わせた指導について検討を行うことが考えられる。

【参考資料】教育的ニーズを整理するための調査事項の例（言語障害）

以下の資料は、言語障害のある子供の教育的ニーズを整理するための三つの観点を踏まえて調査票の参考例として調査項目等を示したものである。実際の調査においては、以下に加え調査事項を追加する等により活用することを意図している。

なお、詳細な事項の内容については、本編VIを参照のこと。

1 言語障害のある子供の教育的ニーズについて～教育的ニーズを整理するための観点～		
① 言語障害の状態等の把握		
視 点	事 項	記 録
医学的側面	障害に関する基本的な情報の把握	
	既往・生育歴	
	言語障害の状態	
	音声や構音の状態	
	音の聴覚的な記憶力	
	発語器官の運動	
	発話の内容	
	話し言葉の流暢性の状態	
心理学的、 教育的側面	発達の状態等に関すること	
	身体健康と安全	
	聴覚的な記憶力の状態	
	基本的な生活習慣の形成	
	運動能力	
	意思の相互伝達能力	
	感覚機能の発達	
	知能の発達	
	情緒の安定	
	社会性の発達	
	本人の障害の状態等に関すること	
	障害の理解	
	障害による学習上又は生活上の困難を改善するために、工夫し、自分の可能性を生かす能力	
	自立への意欲	
	対人関係	
	学習意欲や学習に対する取組の姿勢	
	諸検査等の実施	
	個別式検査の種類	
	発達検査	
	検査実施上の工夫等	
検査結果の評価		
行動観察		
認定こども園・幼稚園・保育所、児童発達支援施設等からの情報の把握		
集団生活に向けた情報、成長過程		
② 言語障害のある子供に対する特別な指導内容		
構音障害の指導		
発語器官の運動機能の向上に関すること		
音の聴覚的な認知力の向上に関すること		
構音の指導に関すること		
構音の状態の理解と生活管理に関すること		

話し言葉の流暢（りゅうちょう）性に関わる障害の指導		
自由な雰囲気です「楽に話す」ことを奨励する環境作りに関する事		
「楽に話す」体験をさせる方法に関する事		
難発から抜け出す方法に関する事		
苦手な場面や語音に対する緊張の解消に関する事		
日常生活におけるコミュニケーションの態度に関する事		
本人の自己実現に関する事		
言語障害の基礎的事項の発達の遅れや偏りに関する障害の指導		
コミュニケーションの胎動や意欲に関する事		
言語活動の促進に関する事		
実際の生活場面等における言語の使用に関する事		
話す、聞く、読む、書くなどの言語スキルの向上に関する事		
③ 言語障害のある子供の教育における合理的配慮を含む必要な支援の内容		
ア 教育内容・方法	(ア) 教育内容	
	a 学习上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮	
	b 学習内容の変更・調整	
	(イ) 教育方法	
	a 情報・コミュニケーション及び教材の配慮	
	b 学習機会や体験の確保	
	c 心理面・健康面の配慮	
イ 支援	(ア) 専門性のある指導体制の整備	
	(イ) 子供、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮	
	(ウ) 災害等の支援体制の整備	
ウ 施設・設備	(ア) 校内環境のバリアフリー化	
	(イ) 発達障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮	
	(ウ) 災害等への対応に必要な施設・設備の配慮	

2 学校や学びの場について		
設置者の受け入れ体制	小・中学校の状況	
本人・保護者の希望	希望する教育の場	
	希望する通学方法	

3 その他		
併せ有する他の障害の有無と障害種		